



廃県置藩 地域活性は発想の転換で

田中 親彦 議員

我が地方筑後市の 景気対策は

問 大きな世界不況にも左右されず、我々は地域規模でしっかりと経営基盤を持ち運営にあたり、今後をどの方向に誘導するか、創りあげた気概ある経営が必要である。その考えはあるか。

市長 100年に一度の経済危機、急を要する内需景気刺激策、限られた基礎自治体あくまでも国県の施策に対応し機敏に呼应する。

問 景気対策に無駄となら

この時代これから先の 財政構築は

ない一定量の公共事業は必要で、裾野は広く雇用の促進と消費を促し、地域に必要な社会資本の整備で投資以上の経済効果をもたらすもの。その考えはあるか。

建設経済部長 鉱泉源公園計画の前倒しや、南西部の県道拡張整備の予算算化や新設東西線計画の要望をし、国や県事業でも地域活性の刺激策としたい。

問 自主財源枠で計画的増収を図れるのは市税である。経済は人の流れにある。新幹線全線開業に向け、福岡大商業圏化のベツトタウンとする新規政策はあるか。

市長 周辺自治体に比べ、企業誘致の努力で市の税収を大きく法人が支えてきた。一番の安定税源は市民税、住民税だ。2年余り後の新幹線開業



地域活性化が期待される羽犬塚駅（イメージ図）

をにらみ福岡通勤圏の一翼を担い、人口増に頑張ってもらい組んでいく。

問 地域づくりで子どもから高齢者までの健全育成や健康維持ができれば、保育費・医療費・介護費が減少し中福祉的結果となり社会保障費の圧縮が叶うか。

市長 市民に何のためのコミュニティ構想か理解を得るために職員が地域と一体となって現実のものにした時、扶助費の圧縮に繋がる。

開かれた会議で情報の開示と 共有化を

矢加部 茂晴 議員

問 11月13日、第1回目の「筑後市立病院経営形態検討委員会」が開催された。ところが、委員会の議論を一般に公開せず、要点議事録のみの公開とされたこと聞き、私は驚きの感に打たれた。市民の財産である病院の将来展望を見据えた審議を行うという重大な問題だからこそ、開かれた委員会とすべきだし、広く市民の関心を喚起するべきだ。

市長 委員会の中で委員長を中心としていろいろ議論された結果であり、委員会の意思も尊重しなければならぬと思う。ただし、情報を共有することは原則であり、情報を共有するやり方について工夫を凝らし、市民に方向性が見えるようにしていたらいいと思う。

問 審議非公開の理由は。

総務部長 自由で活発な意見を出したという理由から非公開と決まったようだ。

問 今議会の他の議員への

答弁で、市民の理解なくしては協働のまちづくりはできないという言葉があった。市民の理解のための前提となるのは、情報の開示と共有化だ。第2回目の委員会がまもなく開かれるが、再考していただけないか。

総務部長 議会の中でそういういった意見があるということでの提案はできる

と思う。

会議の公開に 明確なルール化を

問 会議の公開について、ルールはつくっているのか。

総務部長 方針としては出しているが、明確にルール化したものは持っていない。



市立病院1階ロビーで開催された「Xmasコンサート」

問 条例でなくとも指針をつくっている自治体もある。

総務課長 審議会等の委員選任では要綱を持つているので、要綱が、指針にするのかを検討したいと思う。